

「わかる授業」通信

～すべての子にわかる楽しさ、できるよろこびを～

平成30年12月7日

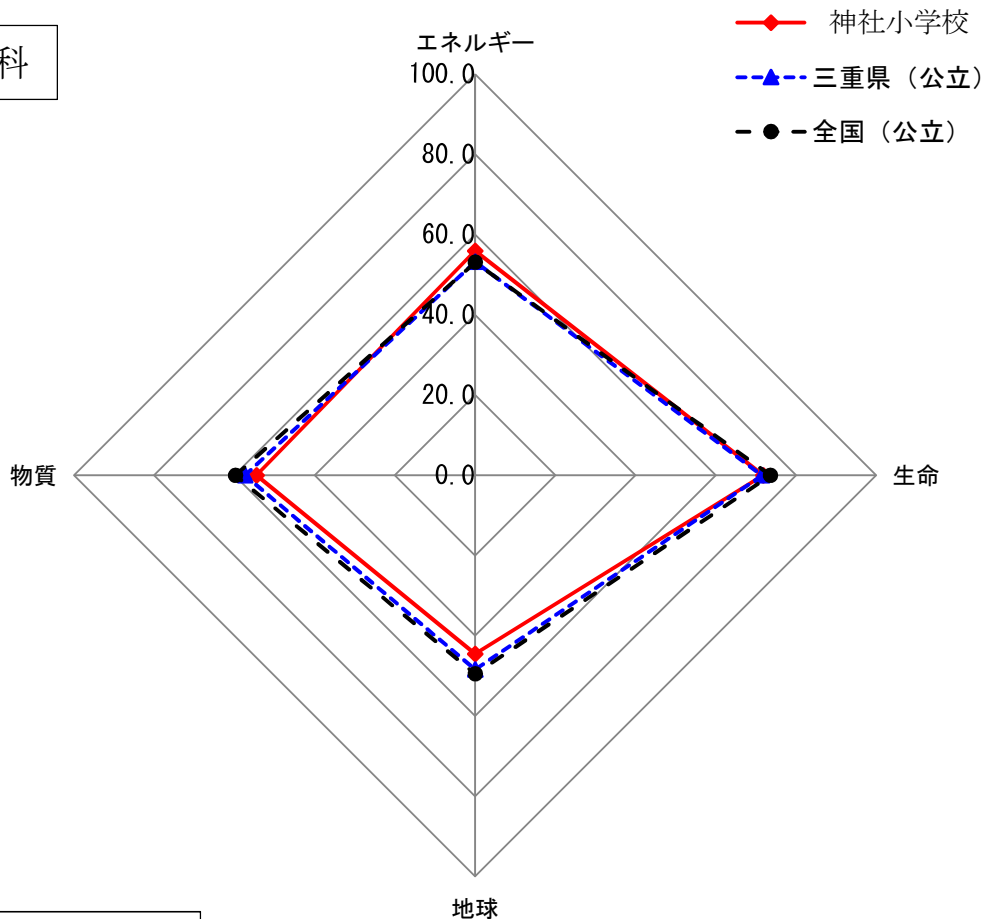
神社小学校 わかる授業担当

第4号

全国学力学習状況調査の結果からわかる成果と課題について

これまで「国語A・B」「算・A・B」の本校の結果についてお知らせしてきました。今回は「理科」についてお知らせします。

理科



間違いの多かった問題

流れる水の働き

(地球に関する問題で、適切な名称の理解)

流れる水の働きにより、川が曲がっているところの外側では地面がけずられて、内側では流れてきた土や石を積もらせる。この「土や石を積もらせる」はたらきを何といいますか。そのことばを下の1から3までの中から1つ選んで、その番号で答えましょう。

1. たい積^{せき}
2. 運ぱん
3. しん食^{しょく}

正解は1のたい積でした。この内容は5年生の理科で学習する内容です。この問題は、「堆積作用^{たいせき}について、科学的な言葉や概念を理解しているかどうか」をみるものでした。
(本校の正答率 72.7% 全国 83.6%)

上流側の天気と下流側の川の水位

(地球に関する問題で、複数の情報を基にした分析)

示されていた資料

- ・上流のほうの空の様子（雲の動き・量がわかる資料）
- ・気象レーダー（雨の量のわかる資料）
- ・学校から見える川の水位（水位の変化がわかる資料）

上記の3つの資料には、それぞれ午後1時・2時・3時の時間の経過とともに変化していることが見て取れるものでした。この3つの資料から、学校から見える川の水位についてどのようなことがいえるのか、1から4までの中から2つ選んで、その番号を答えましょう。という問題でした。

1. 上流で雨が降り始めると同時に、水位は高くなる。
2. 上流で雨が降って1～2時間たってから、水位は高くなる。
3. 上流で雨がやんでも、水位は1～2時間では変わらない。
4. 上流で雨がやむと同時に、水位は元にもどる。

正解は2と3でした。これも5年生で学習する内容です。

この問題は、「より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できるかどうか」をみるものでした。

(本校の正答率 49.1% 全国 59.8%)

領域別では、「エネルギー」については本校の児童は全国平均より高く、よく理解できています。「生命」についても全国や三重県とほぼ同じです。「物質」と「地球」については少し低いです。ただ、理科においても、国語・算数と同様に無解答率が減り、全国との差も少し縮まっています。初めからあきらめるのではなく、チャレンジする意欲が日頃の取り組みで育っている証です。

理科においては、身近な生活に生かせるような知識を得るために、児童が興味を強く持ち、野外観察や実験等を行い、主体的に問題解決した結果として知識を獲得することの重要性について意識していくことが大切です。

そして、自分の考えを文章にまとめたり、書いてある内容を読み取って要約したり、書く力をつけていくことが必要です。

正答率については年度によって変動があり今年の結果が必ずしも学校全体の学力の傾向を表しているわけではありません。

最後に・・・

全国学力学習調査の問題は、6年生で学習する内容ではなく、1年生から5年生までの学習の定着を測るものです。基礎・基本の学力をそれぞれの学年でつけ、それをもとに学びを高めていくことが大切です。

ご家庭でも本校の「家庭学習の手引き」をよく活用していただき、家庭学習も充実させていきましょう。また、現在の学習についてはノートを見ていただくと多少判断できると思います。

次号は、「児童質問紙」について、お知らせします。